

佐野高校図書館の紹介



大阪府立佐野高等学校 学校司書 信達 久美子

日時：平成20年7月2日（水）

会場：大阪府立佐野高等学校

1 はじめに

佐野高校は創立106年目を迎える、普通科（各学年6クラス）・国際教養科（各学年2クラス）を併せ持つ24クラスの学校である。

校舎は全体的に旧く、特に本館玄関は時代を想わすレトロな造りである。

本校は地域の進学校として人気が高く、生徒は学習・クラブ活動・行事参加にも積極的である。特に佐野高祭（文化祭&体育祭）における生徒会を中心にした自主的な活動が、先輩から後輩へと受け継がれている。また国際教養科が受け入れている、海外からの留学生（長期・短期）の滞在時には、国際交流委員がホスト役等で大いに貢献している。

2 特色を活かす図書館運営

図書館はこじんまりしていて、館内には他校には無いであろうマントルピースが置かれ、落ち着いた雰囲気が保たれている。小さい分使い易く本の配架などにも、利用しやすい様、工夫が凝らされている。特に本の配架にも、本を活かすという事を心がけている。

蔵書のデータ化

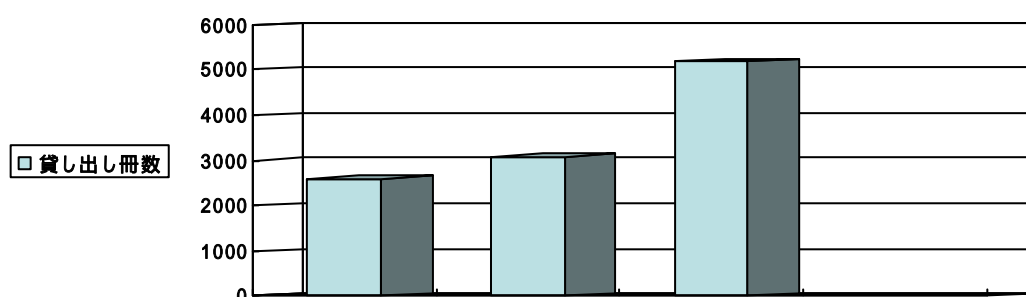
- 平成19年4月から、蔵書管理システムでカウンター業務を始めた
現在までに蔵書 約23,500冊をデータ入力
(閲覧室全て、全蔵書の約6割)

- 貸し出し冊数の推移

平成17年度 H18年1月まで (2605)冊

平成18年度 H19年1月まで (3084)冊

平成19年度 H20年1月まで (5195)冊



3 活性化をめざした取り組み (生徒の読書意欲を引き出す)

ブックワーム大賞の設置 (平成17年度より)

年度内に本校図書館の本を50冊以上借りた生徒を表彰する。
受賞者には表彰状及び記念品 (佐野高校特製オリジナルタオル) を授与する。
同一生徒の受賞は年度内に一度限りとする。昨年度は13名が受賞した。

カウンター業務は係教員 & 司書が担当

図書委員は個人情報保護のため、カウンター業務はやらせない。係り教員だと生徒とコミュニケーションができ、この事が結果的に読書活動へと繋がった。
(生徒への挨拶、読書奨励、読書相談など)

個人カードは作っていない。

貸し出し・・・生徒にクラス・出席番号を訊き、生徒名簿ファイルのバーコードにスキャナーを通し、名前や写真で本人であることを確認して、本を貸し出している (利用者は何も書かなくて良い)

返却・・・・・・・・返却されてきた本 はとりあえず、(繰り返し利用される事を願って)カウンターに並べている。置き場がなくなったら、随時、話題の本の書棚に並べるようにしている。

蔵書管理システムのトータルな活用

図書の貸出・返却・検索・予約受付及び未返却本の督促が迅速に出来るようになった。

カウンター端末により、利用者が探している図書の検索・利用者の貸出状況が瞬時に解かる様になり、読みたい本のリクエスト受付や予約受付がスピーディに行えるようになった。

リクエスト&予約図書

利用者のニーズに答える様に努め、希望者の名前などの秘密は守っている。

図書委員の活動

人数 クラスに1名
期間 1年間 (活動は放課後)

主な仕事の内容

< 1、2年生図書委員 >

総務係 蔵書入力作業(バーコード貼付等)

広報係 『BOOK WORM』の発行

展示係 展示物やポスターの作成

文化行事後の生徒アンケートの集計

< 3年生図書委員 >

本の紹介文を書く。広報誌『はとぼっぼ』に掲載

文化行事後の生徒アンケートの集計

< 各コーナーの紹介 >

進路小論文コーナー(約150冊)

生徒が自分の進路について調べたい時に利用できる。

また、大学受験に役立つ小論文用図書は継続して購入している。

話題の本コーナー

単行本と文庫本の2箇所のコーナーに分かれていて、図書館の常連さんたちがよく立ち寄り本を選んでいる場所である。

おすすめ本コーナー

よく利用される本を勧めている。

スポット本

新聞や行事などで紹介のあった本をとりあげて展示している。
また、本校国語科教諭の著書を展示（現在3冊を常時展示）

新着図書

司書が選んだ本や生徒からのリクエスト本を中心に並べている。
（各教科から生徒用図書として推薦のあった本も購入している）

人権行事で紹介された本の展示

「図書館教育ニュース」で紹介している本を展示している。
『源氏物語』特集など

夏休みの読書感想文用図書

学校行事（文化祭・体育祭・修学旅行）のための本を展示

泉佐野市立中央図書館の本

団体貸し出しで、200冊まで2ヶ月間借りることが出来る。

4 教科との連携（授業への対応 English Library）

< English Library > の設置や利用で国際教養科と連携している。
また、外国人教師と日本人教師による図書館を使っての授業が行われている。
（年間授業数116時間の内、殆どが英語科の授業である）

< English Library > は佐野高校図書館の特色の一つであると言える。
図書館の入り口すぐの所に別置き、レベル別に分類している。
（8-1、8-2、8-3・・・と、難度が高いと数字も大きくなる）

装備への配慮

<English Library>のバーコードシールは表紙に貼ると、著者名などの必要な情報が隠れるので裏表紙に貼っている。また、本の背が薄いのでレベル別に色分けし、ラベルの記入も見やすいように工夫している。

国際教養科の生徒の図書の利用が多い

英語ジャーナルの授業で「ブックレポート」という感想文を生徒に書かせるため、国際教養科の生徒を中心に良く利用されている。現在731冊所蔵していて、1年間に約800冊を貸し出している。<English Library>を借りるついでに、一般の図書も借りていくケースもあるので、図書館側にもメリットがある。



図書館の隣にある
<第1ときめきサロン>
で説明を聞く参加者の皆さん

最後に [大阪府立佐野高等学校ホームページ](#) を紹介した。
(校内学情パソコンならこのHPから蔵書検索が可能)

佐野高校の図書館は

「読書の楽しさを発見できるところ」

「自分で考えながら成長できるところ」

「利用者にとって非常に便利なところ」
です。